

女性活躍のための地域中小企業技術力体感プログラム【弘前市】

地域の実情と課題

- 当市では、女性の雇用環境の改善に取り組む事業者の認定制度など、様々な産業分野で女性の活躍を推進する地域づくりに取り組んでいる。
- しかしながら、地域の多くの企業では人手不足を感じており、特に理工系分野では専門人材が不足している。
- 市内に立地する大学においても、理工系分野は他の学部と比較して女性の割合が低く、卒業後の市内企業への就職率も低い状況にあり、地域で学んだ人材の地域外流出が課題である。

事業の特徴

- 地域の中학생や高校生が、高い技術力を持って事業展開をしている地域の企業を訪問し、技術開発や生産の現場を体験するとともに、企業で働く従業員との交流機会を創出し、理工系分野で働く姿を実感し、地域に残り活躍するイメージの形成を図った。
- I T系、ものづくり系、食品系と複数の分野の企業で実施した。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、十分なスペースが確保できるよう、当初の予定よりも募集人数を抑えて実施した。

事業の効果

- 理工系分野への理解、興味が高まった参加者の割合は72.2%(目標80%)だが、プログラムの満足度は100%であったほか、他の企業への訪問・体験や来年度以降の参加希望など、参加者の学ぶ意欲の高まりがみられた。
- 参加企業の知名度、認知度の向上だけでなく、企業や製品に愛着を持ってもらう機会となった。

目的・目標

- 中学生や高校生を対象に、地域の企業での事業体験や従業員との交流により、女性が地域の中で活躍している状況を知る機会を創出する。
- 理工系進路及びその先にある地域での就業イメージの形成を図り、若年層の地元定着率を向上させ、地域が人を育て、地域に還元されるしくみをつくる。

◇ 参加者数 18名(目標 90名)、参加企業数 3社(目標 3社)

連携団体

- ひろさき産学官連携フォーラム
行政、大学、企業等で組織され、受入先となる企業情報の収集、意見交換を実施した。
- 周辺市町村
参加生徒の募集にあたり、公共施設にチラシを備え付けるなど、周知協力いただいた。

今後の課題

- 地域企業の多くが人手不足や専門人材不足を感じているが、知名度や認知度が低いため、就職活動が始まる前の世代や保護者に知ってもらう機会を作ることが重要。
- 単に座学や見学だけでなく、興味を持って参加してもらう内容とするために受入先となる企業との綿密な調整が必要。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、学校行事の変更や参加人数の制限など、日程や規模、内容の調整が困難な場合もある。

事業の概要

背景・目的

- 人口減少の進行を軽減し、地域の持続的な発展を図るためには、あらゆる分野で女性の活躍を推進し、若年女性の地元定着率を高めることが必要。
- 全国的に理工系分野は他の分野と比較して女性の活躍が進んでいない状況にある中、市内に立地する大学でも理工系分野の女性の割合は低く、卒業後の地域外流出も多い。
- 進路選択の前段階にある中学生や高校生を対象に、理工系進路を選択した先にある地域での就業イメージの形成を図り、地元定着率を向上させ、地域が人を育て、地域に還元されるしくみをつくる。

実施内容

受入先企業（R2年度実施内容）

マルマン
コンピュータサービス(株)

(株)光城精工

(株)ラグノオささき



募集申込

連携協力



中学生・高校生

**体感プログラム
(体験・対談)**



新事業企画体験



工場見学、品質体感



工場見学
賞味期限分析体験